

川秀 宮古に新冷蔵倉庫完成

5000トン、自然冷媒で環境配慮

水産加工の株式会社川秀(本社・岩手県山田町、川端秀典社長)は、宮古市津軽石大判川地区内に新たな冷蔵倉庫を竣工した。二酸化炭素(CO₂)を冷媒に用いたノンフロン型を導入し、マイナス25度で5千トンの保管が可能。大判川冷蔵庫は3棟体制となり、県内における同社の冷蔵保管能力は計1万1千トんと東日本大震災前の水準に回復した。震災から9年。減少しつつある水産資源の回復も目指し、環境に配慮した商品を売りに復興を加速させる。

保管能力、震災前に回復

既設の大判川第一冷蔵庫、同第一冷蔵庫に隣接する形で整備。昨年5月

震災翌年に完成した大判川第二冷蔵庫。右奥に見えるのが新冷蔵倉庫



川端秀典社長



竣工した新冷蔵倉庫。国道45号沿いに立地する



二酸化炭素を冷媒に用いた環境配慮型の最新冷却システム「スーパーグリーン」

庫内はマイナス25度を維持。3基のローテーションで稼働する。

冷却システムには、CO₂を冷媒とする日本熱源システム(株)の「スーパーグリーン」(SGF2)を3基採用した。オゾン層破壊係数ゼロ、地球温暖化係数1の環境性に加え、代替フロンR404Aと比べ15〜20%の省エネを実現。アンモニアフリーで無臭、無毒、不燃性という高い安全性を兼ね備える上に、空冷式のため冷却水が不要で水道代や水質管理費も削減できる。

川秀は震災の津波で県内7つの工場を失った。被災を免れた大判川第一冷蔵庫と、震災翌年の2012年に完成した同第二冷蔵庫の保管能力は各3千トン。今回5千トンが加わって計1万1千トンを冷蔵保管できるようになった。佐々木取締役は「ようやくスタート地点に立てる。これからは前進あるのみで笑顔を目指す。岩手のほか、青森県と北海道にも工場を構える同社のこだわりは、高鮮度のうちに処理するワンフローシステム。網走な

らホタテ、八戸はイカ、宮古・赤前はイサダ(ツノナシオキアミ)といったように各工場が主力素材を持つのも特徴だ。前浜産を生かした商品づくりに励むが、近年は地球温暖化に伴う海洋環境の変化で原料の安定確保が難しい状況という。

新冷蔵倉庫の建設にあたり、代替フロンではなく、ノンフロン自然冷媒のCO₂を使った新世代の冷却システムを選んだ理由には、少しでも温暖化防止に貢献したい思いがある。

代替フロンはオゾン層を破壊しない点から1980年代以降に普及したが、漏れた場合にCO₂と比べて数百から数万倍強い温室効果を持つ。自然冷媒の大規模冷蔵・冷凍庫は導入費用が一般的な設備よりも割高なため、全国的にも活用がまだまだ進んでいない。CO₂単一冷媒をいち早く取り入れた大判川冷蔵庫は今後、同社の物流拠点の役割を担うだけでなく、環境対策の先進モデルとして注目を集めそうだ。

川端秀典社長は「海の恵みの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。前浜産を重視する会社の姿勢は今後も変わらない。『おいしいね!』の笑顔、日本に、世界に咲かせられるよう、環境にも配慮した商品づくりに精進したい」と意気込む。

川端秀典社長は「海の恵みの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。前浜産を重視する会社の姿勢は今後も変わらない。『おいしいね!』の笑顔、日本に、世界に咲かせられるよう、環境にも配慮した商品づくりに精進したい」と意気込む。

川端秀典社長は「海の恵みの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。前浜産を重視する会社の姿勢は今後も変わらない。『おいしいね!』の笑顔、日本に、世界に咲かせられるよう、環境にも配慮した商品づくりに精進したい」と意気込む。

川端秀典社長は「海の恵みの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。前浜産を重視する会社の姿勢は今後も変わらない。『おいしいね!』の笑顔、日本に、世界に咲かせられるよう、環境にも配慮した商品づくりに精進したい」と意気込む。

川端秀典社長は「海の恵みの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。前浜産を重視する会社の姿勢は今後も変わらない。『おいしいね!』の笑顔、日本に、世界に咲かせられるよう、環境にも配慮した商品づくりに精進したい」と意気込む。

川端秀典社長は「海の恵みの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えたい。前浜産を重視する会社の姿勢は今後も変わらない。『おいしいね!』の笑顔、日本に、世界に咲かせられるよう、環境にも配慮した商品づくりに精進したい」と意気込む。

祝 株式会社川秀 大判川地区冷蔵倉庫 竣工

◆冷却設備・躯体防熱工事

株式会社 ヤマダ技研 代表取締役 鷲足 哲也
宮城県仙台市若林区鶴代町2-48 TEL 022-236-6131

◆設計	◆建築工事		
岡田設計 代表 岡田 茂 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘3丁目21-13 TEL 022-277-0355	日本建設株式会社 仙台支店 執行役員支店長 片山 洋一 宮城県仙台市青葉区一番町4丁目7番17号 SS. 仙台ビル8階 TEL 022-224-0091		
◆土工	◆とび工事	◆電気	◆防水・左官
株式会社 秋山工務店 TEL 0197-65-5136	有限会社 阿部架設 TEL 0197-35-3139	有限会社 祝田電気工事 TEL 0193-42-5228	株式会社 オダカ TEL 0193-25-0705
◆防火水槽	◆外構工事	◆カッター工事	◆金属工事
株式会社 小山田工業所 TEL 019-652-5111	株式会社 鹿島道路 東北支店 TEL 022-216-0492	株式会社 木村工務店 仙台営業所 TEL 0120-80-3175	サンキョーシャッター株式会社 TEL 022-302-7401
◆コンクリート圧送工事	◆鉄筋工事	◆型枠	◆断熱製造
有限会社 三東 TEL 0193-63-1106	株式会社 高橋鉄筋工業 TEL 0197-35-0348	有限会社 多田工務店 TEL 0198-62-5315	デュポン・スタイロ株式会社 TEL 03-5521-0141
◆機材納入	◆冷凍設備納入	◆生コンクリート	◆防熱施工
東和産業株式会社 仙台営業所 TEL 022-299-7003	日本熱源システム株式会社 TEL 03-5579-8830	橋爪商事株式会社 TEL 0192-27-1131	東日本冷熱株式会社 TEL 050-3488-5383
◆看板工事	◆設備工事	◆防熱資材	◆鉄骨・外壁
フジワラ看板株式会社 TEL 0193-25-1555	株式会社 宮古衛生社 TEL 0193-62-1997	明正工業株式会社 TEL 03-5261-9081	株式会社 横河システム建築 TEL 047-435-6205

「週刊水産新聞」2020年(令和2年)3月16日 第1074号(毎週月曜日発行) 発行所/株式会社水産新聞社 〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目9番地1 エコネットビル5階 電話(011)210-5073 FAX(011)210-0947